

テュートリアル課題 足が重い

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/11820

2006年度
Block 6後期 テュートリアル課題

課題番号 8

足が重い



東医療センター内科 柴田 興一

無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい

2006-B6-T2-8

足が重い

シート1

ある日の朝7時すぎ、祐子さんに78歳の母親から電話がかかってきました。

母親のトキ「起きてから、足が重くて思うように歩くことができなくて・・・。」
祐子さんは最近、ふだんの母の歩き方が年のせいから少し前屈みで用心深くなっていたのが気がかりでしたが、不安な気持ちで家に向かいました。

抽出を期待する事項

- 1) 加齢に伴う歩行の変化
- 2) 高齢者の歩行障害の原因

シート2

外来の診察室での会話。

担当医「今、何か病気で治療をうけていらっしゃいますか？」

祐子「最近少し耳が遠くて、姿勢が悪く背中が曲がってきたのが気になる程度で、日常では不自由はありませんでした。ただ、血圧が高いと言われていたようで、腰や膝の具合が悪く、腰が痛いとか膝が痛いと言っていることは多かったです。」

トキ「今朝からは左足が重いのと、左手にも力が入りにくい感じがあります。」

担当医は診察を始めました。

抽出を期待する事項

- 1) 生理的老化と病的老化
- 2) 高齢者にみられる疾患の特徴
- 3) 神経学的診察

シート3

病歴と所見は以下のとおりでした。

病歴：今朝、6時に起床したところ左足が重く感じ、うまく歩けないことを自覚。食事の支度をしようとしたところ左手に持ったものを落としてしまった。症状がやや進行するため10時に病院を受診した。

身体所見

身長 150 cm、体重 43 kg、血圧 172/92 mmHg、脈拍 76/分 整、体温 36.5 度
頸部の血管雑音は聴取せず、胸腹部異常なし、四肢に浮腫はなし

神経学的所見

意識は清明、見当識障害なし、失語・失行・失認なし

mini-mental state examination (MMSE) 28/30

脳神経系：上位運動ニューロン障害による左側の顔面神経麻痺を認める

運動系：左側の Barré 徴候陽性

感覚系：異常なし

腱反射：左側の上・下肢腱反射の亢進、左側 Babinski 反射陽性

協調運動：異常なし（左側は運動麻痺による影響があるため判定困難）

歩行：不能

担当医は患者と家族に入院の必要性を告げ、検査と治療をすることになりました。

抽出を期待する事項

- 1) 急性発症の上位運動ニューロン障害による左側の顔面神経麻痺と片麻痺
- 2) 高齢者の脳血管障害
- 3) 脳MRI 所見とその加齢に伴う変化
- 4) 脳梗塞（急性期）の治療

資料

脳 MRI

入院時検査所見

シート4

リハビリテーションも順調に進み、退院をひかえたある日。

担当医「リハビリテーションもずいぶんがんばりましたね。」

トキ「ありがとうございます。最初は全く歩くことができませんでしたが、なんとか杖を使って部屋の中を移動することができるようになりました。」

祐子「だいぶ回復しましたが、一人で食事の支度や入浴をするのは難しいので退院したらどのようにしたらいいのかを相談しているところです。」

抽出を期待する事項

- 1) 高齢者の脳梗塞のリハビリテーション
- 2) 脳梗塞患者のADL
- 3) 高齢者における社会資源の活用

シート5

外来ではその後、高血圧や脳梗塞の再発予防の治療を継続することになりました。退院2ヶ月後、トキさんは家のなかで転倒してしまい外来を受診しました。レントゲン写真では異常はありませんでした。

トキ「今は多少痛みがある程度で歩くのは大丈夫です。」

祐子「退院してからはヘルパーさんのお世話にもなっていますし、デイケアも利用しています。一人でいる時につまずいて転んでしまったようです。私は、家が近いのでこれからも母のところにはできるだけ行くつもりです。」

担当医「・・・」

抽出を期待する事項

- 1) 脳梗塞（慢性期）の治療
- 2) 高齢者における転倒予防
- 3) 介護保険制度

7. シート5のポイント 3日目の後半に配布し、課題を抽出。4日目に討論しロールプレイをする。

外来ではその後、高血圧や脳梗塞の再発予防の治療を継続することになりました。退院2ヶ月後、トキさんは家のなかで転倒してしまい外来を受診しました。X線写真では異常はありませんでした。

トキ「今は多少痛みがある程度で歩くのは大丈夫です。」

祐子「退院してからはヘルパーさんのお世話にもなっていますし、デイケアも利用しています。一人でいる時につまずいて転んでしまったようです。私は、家が近いのでこれからも母のところにはできるだけ行くつもりでいます。」

担当医「・・・」

キーワード

脳梗塞の再発予防、家の中で転倒、ヘルパー、デイケア

抽出を期待する事項

- 1) 脳梗塞（慢性期）の治療
- 2) 高齢者の転倒予防
- 3) 介護保険制度

テュートリアル5日目の進め方

1) 「高血圧や脳梗塞の再発予防の治療を継続することになりました」ということから、慢性期の脳梗塞の再発予防治療について議論が進んでいくと考えられる。ここでは治療の実際を理解し、説明ができることが望まれる（到達目標C-3）（参考資料19:p106）。

抽出されない場合は、「外来での脳梗塞の治療とはどのようなものか？」と問いかけてみて下さい。

2) 「一人でいる時につまずいて転んでしまったようです」とあるように高齢者における転倒は大腿骨頸部骨折を発症し長期臥床の原因となることも多く、日常的に重要な問題である。ここでは、高齢者における転倒の問題やその対策（転倒予防）について議論されることが望まれる（到達目標B-4）（参考資料20:p116）。

抽出されない場合は、「どうして転んでしまったのだろうか?」、「転ばないようにするにはどのようにしたらいいのだろうか?」と問いかけてみて下さい。

3) 「退院してからはヘルパーさんのお世話にもなっていますし、デイケアも利用しています」とあるように患者や家族をとりまく介護や福祉について議論が進むことが望まれる。そして、障害をもつことになった高齢者が在宅で暮らしていくための介護保険制度の利用について議論がなされることが望まれる（到達目標A-3）（参考資

料2 1:p123, 2 2:p129)。

抽出されない場合は、「高齢者の介護や福祉のサービス、介護支援にはどのようなものがあるか?」と問いかけてみて下さい。

4) 4日目にはロールプレイを予定している。患者の娘役の学生がシートの最後のセリフを医師役の学生に訴えるかたちで始め、話を展開していく。ここでは、脳梗塞の後遺症のある一人住まいの高齢者において転倒予防について実際のADLに即して具体的に話ができるようにする。医師役の学生は歩行障害や転倒の危険性や転倒予防の重要性とその対策についても説明する。シート5は3日目の最後に渡して学生に準備をさせるようにする。